

行事等

- 12月6日：獣医師賠償責任保険中央審議会
12月9日：全国大学獣医学関係代表者協議会・日本獣医学
学会市民公開連携シンポジウムに藏内会長、
村中副会長、境専務理事、北村顧問出席
：ヤマザキ学園創立50周年記念式典に藏内会
長、北村顧問出席
12月9～10日：WVA評議員会に酒井副会長出席
12月11日：第1回医師会との連携強化推進検討委員会
12月12日：動物用ワクチン安定供給委員会に境専務理事
出席
12月13日：健全な家畜市場取引推進のための啓発普及事
業に係る第2回専門委員会に境専務理事出席
12月14日：第4回女性獣医師支援対策検討委員会
12月15日：平成28年度中間監査
：第5回理事会
12月18日：第52回日本獣医師会雑誌編集委員会
12月19日：第2回アジア地域臨床獣医師等総合研修事業
推進委員会
12月21日：第24回産業動物臨床・家畜共済委員会
12月22日：業務運営幹部会
12月27日：第2回家畜衛生・公衆衛生委員会

募 集

平成29年度「女性獣医師等就業支援研修」開催のお知らせ

研修受講希望の方へ

日本獣医師会では、農林水産省補助事業として「女性獣医師等就業支援研修」を行っております。この研修は女性獣医師等を対象として、家畜保健衛生所、動物検疫所、民間の家畜診療施設等において、家畜伝染病の検査技術、家畜の診療技術等を修得するための研修を実施し、職場復帰・再就職・就業継続に必要な最新知識の修得、獣医療技術向上を図ることを目的としています。

受講者は原則として大学既卒の女性獣医師ですが、産休代替職員等については男性も可としています。地方獣医師会会員資格の有無は問いません。

参加を希望する方は、本会HP

(http://nichiju.lin.gr.jp/topics/topic_view.php?rid=3043)

の申込書にご記入いただき、本会宛てFAX(03-3475-1604)またはE-mail(kyogikai@nichiju.or.jp)にて申込みください。具体的な研修受入先・日程等に

ついては、本会において調整いたしますが、必ずしもご希望に沿えない場合がありますので、予めご承知おきください。

なお、参加費は無料ですが、開催地までの旅費等は参加者の自己負担になります。

研修受入先(家畜診療施設や家畜保健衛生所等)の方へ

本研修は、産業動物獣医師確保の観点から、産業動物診療分野や家畜衛生分野への就業を希望されている方のための研修です。家畜診療施設や家畜保健衛生所等においても、来年度採用内定者・中途採用・再任用等の方々の就業前の事前研修としても、本研修を積極的にご活用ください。該当者がいる場合は、お手数でも本会宛てにご連絡(TEL:03-3475-1601)いただきたくお願いいたします。また、研修に必要な資材等の経費は本会で負担いたしますので、ご相談ください。

女性獣医師の就業支援のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

募 集

第30回日本動物児童文学賞作品募集について

～人と動物との共存（共生）等を扱った作品の募集～

第30回日本動物児童文学賞の作品を下記により募集いたします。

【名 称】

第30回日本動物児童文学賞

【目 的】

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。）の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供達が正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

【募集期間】

平成30年1月1日(月)～4月20日(金) (当日消印有効)

【募集内容】

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

【応募規定】

- (1) 原稿は、原則としてワープロ原稿とする。手書き原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。
- (2) A4判横向き43字×28行を縦書きで使用する
こと。総枚数13枚以上20枚以内とする。ただし、
手書き原稿の場合は、400字詰原稿用紙を縦書き
で使用し、総枚数40枚以上60枚以下とする。
- (3) 最初の1枚は応募用紙とし、①タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話/FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿の総枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。本文は以降のページから開始し、各頁にページ数を印字(明記)すること。なお、上記個

人情報については、「第30回日本動物児童文学賞」に係る事務処理のみに使用する。

- (4) 原稿は本会にて複写するため、ホッチキス、とじ紐などで綴じないこと。

【応募資格】

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

【賞】

- | | | |
|-------------|-------|-------|
| 日本動物児童文学大賞 | 1作品 | =30万円 |
| 日本動物児童文学優秀賞 | 2作品以内 | =20万円 |
| 日本動物児童文学奨励賞 | 5作品以内 | =5万円 |

【発 表】

平成30年9月下旬以降、応募者全員に通知する。

【主 催】

公益社団法人 日本獣医師会

【応募先】

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会

【問合せ先】

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1601

(応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可)

【著作権・その他】

- (1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。
- (2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手300円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する(在庫数に限りがある)。

募 集

参加
無料

健康で安全な畜産物の生産と生産性の向上を目指す 食肉処理施設の視察等と実践的な農場管理手法の実習

平成 29 年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業 管理獣医師等育成支援事業
管理獣医師を育成するための農場経営・飼養管理に関する実習

事業実施主体：獣医療提供体制整備推進協議会 開催担当：農場管理獣医師協会

食肉処理施設における視察・講義により、生産現場から食卓までの食の安全・安心に取り組みを改めて理解いただくとともに、農家を指導するにあたって必要な、生産活動の基礎、リスクマネジメント、HACCP の基本を踏まえた、農場管理獣医師協会が実践している農場管理手法等についての講義・実習を次のとおり行います。

2 日実習

1 日目

平成 30 年

2 月 1 日 木

東京都芝浦食肉衛生検査所

内 容 (予定)

- ① 処理施設等見学
- ② 講 義
「『消費者の視点から』農場管理獣医師の展望」
- ③ 講 義
「一消費者の安心は農場から—
農場管理獣医師協会の活動」
- ④ 講 義
「肥育農場における牛群管理
—食の安全と従事者教育— 管理と記録」

2 日目

平成 30 年

2 月 2 日 金

日本獣医師会

内 容 (予定)

- ① 講 義
「薬剤耐性への取組み」
- ② 実 習
「農場管理手法としての FMVA 方式の実際
—家畜の健康と安心な畜産物と生産性の向上を目指して」
- ③ 総合討論
「生産現場から流通における衛生管理の現状
と課題及び管理獣医師との協働のあり方」

申込締切：平成 30 年 1 月 15 日 金

参加を希望される方は、日本獣医師会事務局 までご連絡ください。

☎ 03-3475-1601 FAX 03-3475-1604 E-mail : kyogikai@nichiju.or.jp

日本獣医師会学会学術誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの学会学術誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、学会学術誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿を希望される方は、新たに一部改正された「日本獣医師会学会学術誌投稿規程(第70巻12号821頁)」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会学会学術誌投稿の手引き(第70巻12号827頁)」を熟読の上、原稿を作成、投稿されるようお願いします。